

牧師所感：もし今愛していないなら

私は詩人 谷川俊太郎氏のファンである。谷川氏は私より一才上の兄貴分であって、共に、あの世の住民に迎えられる日が近い。毎月朝日新聞文化欄に寄稿しておられて、喜んで読んでいる。

ところが予期しなかったロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ハマス戦争で、人間同士の愛の感情が冷え冷えになり、殺伐とした世の中になりつつある。人々の感情が段々と鈍くなっていく今の世の中である。

さてふとしたことで書棚から、『ピーナッツと谷川俊太郎の世界』の本が目に留まった。ページを捲ると、次のような短い詩が目の中に飛び込んできた。

もし今愛していないなら、年をとつて白髪になったとき、どうやって愛せる？

短い詩の中に深く考えるきっかけを与えてくれた。

さて今の世の中で夫婦同士が「もし今愛していないなら」

親子同士が「もし今愛していないなら」

兄弟同士が「もし今愛していないなら」

仲間同士が「もし今愛していないなら」

隣人同士が「もし今愛していないなら」

年をとつて白髪になったとき、どうやって愛せる。

ところで今の世の中で、家族と隣人を、白髪になった今も愛しよう。年若い隣人同士は、白髪になる前の今愛しよう！



もし今愛していないなら、
年をとつて白髪になったとき
どうやって愛せる？

IF I DON'T LOVE YOU NOW,
HOW CAN I LOVE YOU
WHEN YOU'RE OLD AND GRAY ?

ショローダーは今の悪いで未来を予感しようとしている。

114

新約聖書コリント人への手紙第一13章に愛の賛歌の末尾に「このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最大いなるものは、愛である。」

神よ、愛する者になるように祝し給え！！